

## 愛知県における工業中毒特殊疾病発生事例(平成19年)

管轄署	発生年月日	業種	労働者数	性別	年齢	疾病名	災害のあらまし	原因物質
名古屋南署	1月5日	産業廃棄物処理業	192人	男	32才	急性ガス中毒(急性硫化水素中毒)	タンクローリーから仮受けボックスに水酸化ソーダを入れたところ、硫化水素が発生し、被災者が吸入したものである。	硫化水素
名古屋南署	1月6日	石油製品・石炭製品製造業	29人	男	61才	嘔吐症、急性咽喉炎、化学薬品中毒疑い	被災者は、業務係長の指示のもと化学薬品(品名:2,4ジクロロトルエン)をドラム缶(200リットル)に充填する作業をしていたところ、化学薬品がドラム缶上にあふれ周囲に飛散した。被災者を含む4名で、周囲に飛散した化学薬品をウエスで拭き取った。その後、気分が悪くなり嘔吐した。その日は作業を行い帰宅。翌日、頭痛を感じ病院を受診したところ検査入となり、嘔吐症・急性咽喉炎・化学薬品中毒疑いと診断された。	2,4ジクロロトルエン
豊橋	7月23日	その他の事業	42人	男	39才	塩素ガス中毒	病院1階機械室において、雨水ろ過装置の酸化槽に薬液補充を行うに際して、次亜鉛素酸ナトリウムを補充すべきところを間違えて、ポリ塩化ナトリウムを補充したため、化学反応により塩素ガスが発生し、作業員2名が塩素ガスを吸引したものの。	塩素ガス
豊橋	7月23日	その他の事業	42人	男	44才	同上	同上	同上
江南	10月3日	無機・有機化学工業製品製造業	147人	男	42才	酸素欠乏症	サンプリ缶がタンク内に落ちたため、保護帽・安全靴・長袖作業服・ゴーグル型保護眼鏡・防毒マスクを着用し、タンク内に入り、回収後タンクから出ようと登ったときに力が入らず、同僚二人に助けられた。	タンク内にフロンガスが発生したと考えられるが、防毒マスクを着用していたため、酸素欠乏の可能性が高い。